

関西学院初等部 1年 生活科 シラバス 〔保護者用〕

◇1年生活科の目標

食育を基礎においた栽培活動をはじめとする具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々や自然、環境に興味・関心を持ち、自分自身がそれらとかわかって生きていることを実感するとともに、多くの活動や体験から物事を興味深く受け止め、考え、表現したり、生活上必要な習慣や技能を身につけ、たくましく自立して生活したりするための素養を養う。

◇1年生活科の学習計画

	単 元 名	単 元 の 概 要
一 学 期	<p>○しょとうぶのいちねんせいだ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しょとうぶのいちにちをしりたいな ・ともだちをいっぱいつくろう！ ・しょとうぶにはなにがあるのかな ・しょとうぶたんけんにしゅっぱつだ ・どんなはっけんがあったかな ・わたしのはっけんをしょうかいします <p>○ぐんぐんのびろ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なつやさいやくさばなをうえよう ・やさいやくさばなのせわをしよう ・こんにちは、ちいさい【おともだち】 <p>○しょとうぶのまわりをよくみてあるこう</p> <p>○さあ！みんなででかけよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なにをしてあそぼうかな ・たのしかったことをつたえよう <p>○なつがきたよ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あつくなってきたね ・さあ、なつやさいのとりいれだ ・なつやさいをたべよう ・たのしいな なつやすみ 	<p>○春という季節を自然や初等部へ入学したことから感じとる学習です。また、自分が登校する関西学院初等部に興味を持ち、2年生から学校紹介を聞いたり、繰り返して探検活動をしたりすることを通して、学校生活に慣れ親しむようにします。</p> <p>○植物にも動物にもそれぞれに生命があることを知り、大切に育てようとする気持ちをもつために、草花や野菜を植え、日常的に世話をします。また同時に、初等部で飼育する動物や昆虫などとふれあいます。</p> <p>○武庫川の水辺や公園に散策へ行きます。遊びを通して友だちや自然とふれあいます。</p> <p>○「夏」という季節を、初等部周辺を散策する活動を通して、周囲の様子や自然などから感じとる学習です。友だちと楽しく遊んだり、育てた野菜を洗って食べたりし、植物の栽培活動をするなかで、季節の特徴を見つけたり気付いたりします。</p>
二 学 期	<p>○ぐんぐんのびろ・げんきにそだて</p> <p>○みんなみんな だいすきだよ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いえのみんながたすけあっているよ ・わたしもできるようになりたいな ・わたしにできることあるかな ・いえでちょうせんしたことを しょうかいしよう ・いえのみんなが大すきだよ <p>○あきって 気持ちがいいね</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなあきが見つかるかな ・みんなであそぼう ・あきをたのしもう 	<p>○動物や昆虫とふれあうとともに、種子の収穫などを通して植物や動物の生命に関心をもつ学習です。また、冬や春に収穫ができたり花が咲いたりする野菜や草花を植えて、継続的に世話をします。</p> <p>○家族の支えがあって初めて家族の一員としての自分が存在していることに感謝し、自らも家族を支えて生活しようとする思いをもてるように、自分の家族を友だちに紹介したり、家族がしている家の仕事（家事）を調べたり、実際にやってみる学習です。</p> <p>○「秋」という季節を、初等部周辺を散策する活動を通して、周囲の様子や自然などから感じとる学習です。友だちと楽しく遊んだり、栽培活動をするなかで、季節の特徴を見つけたり気付いたりします。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・見つけたあきをつたえあおう ・こんなあき 見つけたよ つくったよ ・たのしみだね ふゆ休み ・もうすぐお正月 	<p>○冬休みや正月を前に、やってみたいことやお手伝いできることについて、話し合ったり、意見を出し合ったりします。</p>
三学期	<p>○わくわく ふゆがやってきた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きたかぜとともだち (・ふゆやさいのしゅうかくだ) ・むかしからのあそびにちょうせん <p>○みつけたよ、わたしだけのふゆ</p> <ul style="list-style-type: none"> (・いっしょにあそぼうよ！) <p>○たのしかったね 1年かん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもいだしてみよう ・いっぱいできるようになったね ・あたらしい1年生がやってくるよ ・さあ もうすぐ2年生だ！ 	<p>○「冬」という季節を、初等部周辺を散策する活動を通して、周囲の様子や自然などから感じとる学習です。日本に古くから伝わる伝承遊びや正月遊びをしたり、栽培活動をするなかで、季節の特徴を見つけたり気付いたりします。</p> <p>○楽しかった初等部でのこの1年間を、活動や出来事、行事などを思い起こしながら振り返り、自分や友だちの成長を心から喜びます。そして、2年生に進級する心構えをもち、新入生を気持ちよく初等部に迎え入れるためにできることを考えて準備をします。</p>

◇指導の工夫

<食育との関連性>

- ・プランターや畑で栽培できるような野菜を栽培し、食べる活動を取り入れることで、自然の恵みを感じ、食べることの大切さを実感できるようにします。

<季節の移り変わり>

- ・季節ごとに、学校内外の自然の様子を観察したり、自然に親しむ活動や体験を取り入れたりすることで、四季の変化を実感できるようにします。

<ホーム活動>

- ・2年生とのホーム活動を適宜取り入れることで、関西学院ファミリーの一員としての素地を養い、大切にされることを感謝する気持ちを育むとともに、自分もホーム活動のリーダーになりたいという意欲をもてるようにします。

◇評価の観点

- ・初等部の1年生として、学校生活を楽しもうとしているか。
- ・身近な人々、植物や生き物に関心をもち、自ら進んでかかわろうとしているか。
- ・調べたり、育てたり、作ったり、遊んだりする活動や体験をする中で、自分の思いや考えを自分なりに表現できるか。
- ・活動や体験をする中で、自分自身と身近な植物や生き物、環境とのかかわりや自分のよさなどに気付いているか。

◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『わくわくせいかつ (上)』(啓林館)
- ・ワークシート 等

◇保護者のみなさまへ

- ・生活科の学習の対象は、自分に身近な「もの」や「こと」であり、それらを具体的な活動を通して学習していきます。その中では、保護者のみなさまに積極的に学習活動への参加を協力いただくことがあります。その際にはご協力をよろしくお願いいたします。
- ・また生活科の学習では、学校で学んだことを家庭で実践する活動を通して、さらに学習したことを深めていきます。ご家庭でも子どもたちと一緒に活動をしたり、温かい目で見守ってあげたりと、保護者のみなさまのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。
- ・生活科の学習の特長のひとつに、自分自身の成長を感じるとともに、家族に支えられて自分が存在することに感謝し、さらに成長しようとする気持ちをもつ点にあります。保護者のみなさまも、子どもたちの日々の成長をしっかりと見届けていただき、声をかけ、認め、ほめてあげてください。

関西学院初等部 2年 生活科 シラバス 〔保護者用〕

◇2年生活科の目標

食育を基礎においた栽培活動をはじめとする具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々や社会、自然、環境、世界に興味・関心を持ち、自分自身がそれらとかかわって生きていることを実感するとともに、多くの活動や体験から興味深く受け止め、考え、表現したり、生活上必要な習慣や技能を身につけ、たくましく自立して生活したりするための素養を養う。

◇2年生活科の学習計画

	単 元 名	学 習 の 概 要
一 学 期	<p>〇はる、あたらしい学年へ！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しょとうぶの2年生だ！ ・つたえないな、しょとうぶのこと ・見つけたよ、わたしだけの【はる】 ・はるをたのしく ・きせつのやさいや草花をうえよう ・草花のせわをしよう ・かいえん、しょとうぶ生きものランド <p>〇しょとうぶのまわりはどんなところ？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さくせんかいぎだ ・たんけんヘレッツゴー ・はっけんをおしらせします <p>〇たのしいね！なつ！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やさいはかせになるう ・なつやさいのしゅうかくだ ・やさいをたべよう ・あたらしい【なつ】をはっ見！ ・なつ休みがやってくる 	<p>〇新入生への初等部紹介や初等部内の案内を通じて、進級したことや下級生が入学してきたことへの喜びを実感します。また、「春」という季節を、初等部周辺を散策する活動を通して、周囲の様子や自然などから感じ取ります。友だちと楽しく遊んだり、栽培活動や調理活動をしたりする中で、季節の特徴を見つけたり気付いたりします。それらの活動の中で見つけた昆虫や生物、植物などにも生命があることを実感し、大切にしようしたり、積極的にふれあおうたりします。</p> <p>〇初等部周囲の町探検を行います。計画や準備から自分たちで行います。探検を通して、初等部周囲の施設や町の様子に関心を持ち、初等部のある町や地域に愛着をもてるようにします。</p> <p>〇これまで育ててきた野菜の収穫をし、食べます。活動を通して、収穫できたことの喜びや、食べることへの感謝の気持ちをもてるようにします。また、周囲の季節変化から夏に関心を持ち、新たな発見をしたり、楽しんだりもします。</p>
二 学 期	<p>〇あつまれ、しょとうぶおもちゃランド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなおもちゃができたよ！ ・かいえん、しょとうぶおもちゃランド <p>〇あきといえば…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しょとうぶのまわりの【あき】をみつけにいこう！ ・いっぱいみつけたね ・あきやさいのしゅうかくだ ・やさいをちょうりしてたべよう ・きせつの草花をうえよう ・草花のせわをしよう <p>〇さむくなってきたね！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もうすぐお正月 ・お正月のたべものは？ 	<p>〇身の回りにあるさまざまな材料を使って、おもちゃを作ります。失敗や工夫、改良を重ねながら完成させ、1年生も招待しておもちゃランドを開き、みんなで仲良く楽しく遊びます。</p> <p>〇これまで育ててきた野菜の収穫をし、調理して食べます。また、次の季節の草花を植えます。活動を通して、収穫できたことの喜びや、食べることへの感謝の気持ち、生命の大切さを感じられるようにします。また、周囲の季節変化から秋に関心を持ち、新たな発見をしたり、楽しんだりもします。</p> <p>〇おせち料理やお雑煮など、正月の伝統的な食べ物について、家庭での様子を調べたり、友だちの家庭での様子を聞いたりします。各家庭や地方による違いや特色を知り、冬休みや正月を楽しみにする気持ちをもてるようにします。</p>
三 学 期	<p>〇お正月…あたらしいはるへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おせちりょうりやおぞうにをはっぴょうしよう <p>〇みんな大きくなったよね</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じぶんたんけんに出ばつだ 	<p>〇正月に食べたり調べたりした伝統的な食べ物について発表します。そのことから、日本に古くから根付く文化や伝統を感じ取ります。</p> <p>〇自分が生まれたころの様子からこれまでの成長してきた自分を振り返り、成長をまとめる活動をします。その活動</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・できるようになったこと、大しゅうごう ・つくろう、じぶんものがたり ・おれいのみもちをつたえよう <p>〇たのしかったね、2年生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんできたね、いいおもい出 ・3年生へ大きくジャンプ 	<p>を通して、自分や友だちの成長を喜ぶとともに、その成長のためには、これまでに多くの人々の支えがあったことを実感し、感謝し、さらに成長を続けようとする思いをもてるようにします。</p> <p>〇楽しかった初等部でのこの1年間を、活動や出来事、行事などを思い起こしながら振り返ります。その中で、自分や友だちの成長を心から喜ぶ気持ちをもてるようにします。また、進級する3年生の教室探検や、3年生にインタビューをします。この活動を通して、3年生に進級する心構えをもったり、進級することへの楽しみや意欲をもったりします。</p>
---	---

◇指導の工夫

<食育との関連性>

- ・野菜を育て、調理して食べる活動を多く取り入れたり、野菜の栄養について知ったりすることを通して、自然の恵みを感じたり、野菜を食べたりすることの大切さを実感します。

<ホーム活動>

- ・1年生とのホーム活動を随時取り入れることで、関西学院ファミリーの一員としての素地を養い、下級生を大切することの重要性や頼られることへの責任感などを実感し、自分も立派なホーム活動のリーダーになりたいという意欲をもてるようにします。

◇評価

<評価の観点>

- ・初等部の2年生として、学校生活を楽しもうとしているか？
- ・ホーム活動の上級生として、1年生を積極的にリードしようとしているか？
- ・身近な人々や社会、自然、環境、世界に関心を持ち、それらが自分自身と深くかかわっていることを感じ、自ら進んでかかわろうとしているか？
- ・調べたり、育てたり、作ったり、遊んだりする活動や体験をする中で、自分の思いや考えを、自分なりのこだわりをもって考えたり、表現したりしようとしているか？
- ・多くの活動や体験をする中で、自分自身と身近な人々や社会、自然、環境、世界とのかかわりや、自分のよさや自分の今後の成長などに気付こうとしているか？

<評価の方法>

どの観点においても、学習の様子や発表内容、提出物、ワークシートの記述内容などをもとにして、総合的に判断します。

◇使用するテキスト類

- ・検定教科書「わくわくせいかつ（上）」「いきいきせいかつ（下）」（啓林館）
- ・「どきどき わくわく せいかつか かつどうずかん」（東京書籍）
- ・ワークシート 等

◇保護者のみなさまへ

- ・生活科の学習の対象は、自分に身近な「もの」や「こと」であり、それらを具体的な活動を通して学習していきます。その中では、保護者のみなさまに積極的に学習活動への参加を協力いただくことがあります。その際には配慮をよろしく願いいたします。
- ・また生活科の学習では、学校で学んだことを家庭で実践する活動を通して、さらに学習したことを深めていきます。ご家庭でも子どもたちと一緒に活動をしたり、温かい目で見守ってあげたりと、保護者のみなさまのご理解、ご協力をよろしく願いいたします。
- ・生活科の学習の特長のひとつに、自分自身の成長を感じるとともに、家族に支えられて自分が存在することに感謝し、さらに成長しようとする気持ちをもつ点にあります。保護者のみなさまも、子どもたちの日々の成長をしっかりと見届けていただき、声をかけ、認め、ほめてあげてください。